

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立湯涌小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・英検Jr.の結果から、文字についての得点が市平均を下回っていることが明らかとなった。そのため、音声と文字とを関連づけた指導を繰り返し行い、確実な定着を図る必要がある。
- ・英語学習意識調査では「英語の文字を読みたいですか」という質問に対して「とてもしたい」と答えた児童が0%、「少ししたい」が60%、「あまりしたくない」が40%と言う結果だった。英語の文字を読むことが楽しいと感じられるよう指導の工夫が必要である。

③学校関係者評価

- ・実社会において英語での会話がほとんどできない状況で、会話力が上がれば必然的に読み書きの力もより早く上達するのではないかと思われる。文法や単語を教える以上に、会話を取り入れた時間・機会を増やす授業が必要ではないか。
- ・児童アンケートでは、概ね「文字が書ける」と思っているのに対し、英検jr.の結果で文字についての点数が低いと出ているので、授業の難易度を上げることはできないのか。
- ・英語の必要性については全員が「大切」と答えているのに対して、好きかどうかでは「やや好き」「やや好きではない」が半々となっている。興味を持ってもらうために、朝の情報番組ZIPでやっているような今日のワンフレーズや、ニュースに係る単語を毎回1つ教えるということを取り入れてみてはどうか。